

受付年月日	元. 9. 2	付託委員会	民生
提出者	●●●●●●●●●● ●● ●● ●●		
提出者からの説明希望の有無			<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
件名と要旨			
<p>(件名) <u>暗所視支援眼鏡を日常生活用具給付事業の対象品目として追加することを求めることについて</u></p> <p>(要旨) 網膜色素変性症は、目の内側の網膜にある2種類の視細胞のうち、かん体細胞が主に障害されることにより、暗い所で物が見えにくくなる、視野が狭くなるという症状から始まり、病気の進行と共に視力が低下し、いずれは見えなくなることもある遺伝性、進行性の病気であり、現在治療法は見つかっておらず、国の指定難病の一つに指定されている。</p> <p>患者の多くは幼少期には病気に気付かず、暗い所が見えにくくなる夜盲や、狭い範囲しか見えなくなる視野狭さくなどの症状が出て初めて眼科を受診し、医師から、治療法がなく、徐々に進行し、いずれは失明に至る場合があるなどといった大変ショッキングな宣告を受ける。また、働き盛りに発症する割合も多い病気であり、本人はもちろん家族の精神的、社会的、経済的苦痛は計り知れない。</p> <p>患者をめぐるこのような環境の中で、HOYA株式会社が開発した暗所視支援眼鏡「MW10」は、夜盲で困っている網膜色素変性症の患者に、明るい視野を提供するものである。また、その開発には公益社団法人日本網膜色素変性症協会も協力しており、患者がこれを装着すると暗くて歩けなかった道を歩けるようになり、災害時における避難や、患者の就労支援に有用であるなど生活の質を格段に向上させることは明らかである。</p> <p>しかしながら、ようやく全国発売されることとなった「MW10」は、販売価格が40万円近くと高額であり、難病を抱える患者が簡単に手に入れることはできない。</p> <p>以上のことから、暗所視支援眼鏡「MW10」を日常生活用具給付事業の対象品目として追加していただけるよう陳情する。</p>			